

うきは市の未来へ

平成17年3月20日に旧浮羽町と旧吉井町が合併してうきは市が誕生し、今年で市制施行20周年を迎えました。

うきは市は、南に耳納連山を抱き、北に九州一の大河である筑後川が流れる自然に恵まれた地域です。そうした自然環境を活かし、平坦部では肥沃な水田地帯、山麓部では果樹地帯が形成され、山間部の豊かな森林資源は、筑後川へ注ぐ多くの支流の水源を涵養するとともに、県内有数の林産地として高品質な木材を生み出しています。

本誌の中でも一部を紹介していますが、うきは市には様々な魅力があり、それらを支え、これからのうきは市を担うべく輝いている方がたくさんいらっしゃいます。行政としても、市制施行20周年を契機として、これからも市民の皆さまがふるさとうきは市を愛し、誇りを持っていただけるようなさまざまな取り組みを行ってまいります。

今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶いたします。



うきは市長 権藤 英樹



うきは市議会議長 江藤 芳光

時代(とき)を超えて

「フルーツ王国」・「棚田」・「白壁の町並み」で知られるうきは市は、旧浮羽町と旧吉井町の合併から20周年を迎えました。

秀麗なる耳納連山、悠久の流れを誇る筑後川が織りなすうきは市は、旧二町が融合して穏やかな民土を培いながら、その文化とともに農林・商工・観光連携により、まちづくりを展開してきました。

振り返れば、国の主要政策であった地方創生の効果は乏しく、地方の人口減少、少子・高齢化等による人材不足が課題となっています。また、気候変動による異常気象で猛暑の日が増え、豪雨による自然災害が常態化し、持続可能な未来を見据えた「脱炭素社会」への対応も急務となっており、課題は山積しています。

これからの10年、この魅力ある「うきは」の生き残りを賭け、ここに新市長を迎え、行政と議会そして市民が一体となった「オールうきは」で、この時代を超えていかなければなりません。

市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



うきは市20周年記念 市勢要覧

Fruitful City

～20年の実り、つなぐ未来へ～

- P29 うきは市のこれから
- P27 スペシャルメッセージ
- P21 市民参加企画
- P17 うきはの四季・みのり
- P13 地区自治協議会の紹介
- P9 うきは市の今
- P7 データでみるうきは市
- P3 うきはの歴史
- P2 市長・議長の挨拶

